

平成25年度施策評価調書

整理番号	3
評価担当課	総務部(行革・職員・研修担当)

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	職員の適正配置と計画的な定員管理		
総合計画の位置づけ	基本目標	1	市民と行政との協働のまちづくり
	主要施策	8	効率的な行政運営

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	平成19年2月に策定した「新・名寄市行財政改革推進計画」(平成24年度に見直し)と定員適正化計画に基づき、適正な職員の配置と簡素で効率的な組織づくりを行うため名寄市行財政改革推進本部及び組織機構等検討部会において平成21年度から平成26年度において73人の人員削減を目標として組織機構の見直し等を行いながら人員削減を行うことにしています。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	平成21年度から平成24年度までの間において55人を削減してきており、今後平成25年度と平成26年度の2年間で18人の削減を目標にしています。今後においても職場会議による意見集約や組織機構等検討部会において組織機構の見直しを行いながら目標達成を目指します。
施策の課題	近年は、組織のスリム化を急激に進めてきたために個人の業務量が増加してきています。また、病気休職者等の発生により平成25年度からは削減のペースを緩めて臨時・嘱託職員等の配置も行ってきています。また、平成26年度からは雇用と年金の接続による再任用制度の構築も行いながら適正な人事配置に努めていきます。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度(26年度)
職員の人員削減	組織機構の見直し等において人員削減した人数	目標値	22	4	9	73
		実績値	22	4	9	—
		進捗率	100%	100%	100%	—
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	市民サービスの向上を考えながら組織のスリム化を進めてきており、人員削減目標に向けて順調に推移してきている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

現在の人員削減目標の期間は平成26年度までとなっていますが、当初の目標である73人の削減は厳しい状況ではありますが「新・名寄市行財政改革推進計画(後期基本計画)」の最終年である平成28年度までに73人の人員削減が終了するように取り組みを進めていきます。

6 外部評価の意見等

人員縮小の中、選抜された優秀な人材が市役所に集まっている。さらなる意識改革を進め、有効な人材活用を図られたい。

7 2次評価の意見等

市民サービスの向上を考えながら組織のスリム化を進めてきており、人員削減目標に向けて順調に推移してきている。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
該当する事務事業無し											

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)